

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

健康新聞

発行所 新健康協会
発行人

〒813-0001
福岡市東区唐原6-7-1
TEL:092-661-1531
https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、発表されたものであります。
世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

行き詰まり

世の中の人ばかりじゃない、信者でもそうだが、よく行き詰まりという言葉が発するが、これは物の真相を弁えないからで、何事も行き詰まりがあるから発展するので、つまり行き詰まりじゃない訳で、ちょうど駆け出し過ぎては息が続かないから一休みするのと同じわけで、いわば節である。これは竹を見ても分かる通り、伸びては節が出来伸びては節が出来るから丈夫に育つので、伸びるばかりで節がなければ、アノ強靱な竹とはならないのである。従って節の少ない竹程弱く、節の多い程強いのはそういう訳である。このようにすべては自然が教えているから、何事も大自然をよく見つめれば物事は大抵分かるはずである。
右は自然の行き詰まりについて書いたのだが、困ることに人は人為的に行き詰まらせる人も少なくないので、これこそ叡智が足りないためで、こう

すればこうなるという先の見通しがつかないからである。こういう人こそ壁に突き当たって二進も三進もゆかなくなるのであるから、これを読んだらよく心の奥に蔵っておき、行き詰まった際振り向いてよく考えてみれば分かるはずである。それによつてどこかしら間違っている点に気がつけばいいので、人間は普段から精々知恵を磨いておくべきで、それには出来るだけ御神書を拝読すべきである。
(昭和二十七年御発表)

科学の力

現代人は、いかなる問題といえども科学によって解決せられざるものはないように言い、科学は万能薬のように思われているに対し、私は質問したいのである。それは、道徳は、芸術は、恋愛は、科学によつて解決出来るだろうかという事である。今かりに科学によつて道徳上の問題が解決出来るとすれば、最も科学教育を受けたところの最高学府を出た人士は、道徳的に優れていなければならぬにかかわらず、瀆職、破廉恥等の犯罪者も少なくない事実をみれば、科学は道徳的には微力である事を物語っている。

次に芸術であるが、これはまた意外である。科学の進歩せる今日の美術家の作品を見ると、数百年以前の同様美術家の作品と比べて、科学を知らないその時代の作品のほうが、数段優れている事実を発見し、私は常に驚嘆するのである。

ここに最もおもしろいと思う事は男女間の恋愛であるが、これは科学的に如何に解釈するかである。以上のごとき三大問題は、人生に対し最も解決を要すべき重大問題であろう。

なるほど、科学は唯物的には人類に対し偉大な貢献をなしつつあり、ますますその発展を要望してやまないが、前述のごとく、科学によつて解決不可能の問題も相当あり、これこそ宗教が分担すべきものではなからうか。ここにおいて私は思う。この両者の一致的進歩こそ、真の意味における人類文化の向上であらう事を。
(昭和二十四年御発表)

浄霊体験記

- 我が子を抱いた感動 一生忘れない...
- 一枚の健康新聞で 人生が大きく変わる...
- 痛みがなくなり 薬も不要になる...

浄霊によって真の健康体となり、運命が向上し、幸せになられた方々の体験でございます。

子宮発育不全・腰痛

我が子を抱いた感動
一生忘れない…



札幌支部
北村秀美 (75)

私は二十五歳で結婚後、間もなく生理が止まったので、「きつと妊娠している」という希望を持って診察に行きました。しかし、診断結果は「子宮発育不全のため通院が必要」ということでした。

もともと生理不順ではあったのですが、生理はあったので、このような結果になることは予想もしていませんでした。驚きと共に悲しい気持ちでいっぱいになりました。

それから、クロミッドという飲み薬（排卵促進剤）の服用と注射が毎月続きました。注射を打つと二、三日腕

が上がらないほどの痛みがありました。痛みのため左腕がうまく使えず、服を着替えるのが大変でしたので、前あきの服を着るようにして極力左腕を使わない生活をしていました。

このような治療を毎月続けていた時、目の前に玉暖簾（たまのれん）が下がっているように歩きづらかったり、両目の縁から虫が飛んでいるような症状が表れました。医者に報告したところ「普通の人

が排卵するのと同じ薬なので気にすることは無い」と言われ、その後も投薬と注射は続き、これらの症状も続きました。今度こそ子どもを授かりたい…との思いで辛い気持ちに堪えながら四年の間、治療を続けてきましたが、突然医者から「このまま治療を続けても妊娠の可能性がないので終了しましょう」と告げられました。この時の悲しみ、絶望感は今でも忘れることが出来ません。

悲しみと不安の中
浄霊を教えて頂く

また、その頃から腰痛で三十分くらい同じ姿勢が続くと辛くなり、立ったり座ったりしながら何とか仕事をしていました。このような状態が二、三カ月続いていたので不安になり、整形外科を受診しました。腰椎がずれているので、将来歩行が困難になる可能性がある」という結果に悲しみが重なり、落胆していました。

腰痛のため、ギブスとワイヤーの入ったコルセットを使った生活が始まりました。コルセットをしている時は痛みが緩和されましたが、外すと痛みが出る状態を繰り返していました。

同じ頃に結婚した友人たちのように、私も結婚し、子どもが出来て楽しい生活ができるのを夢見ておりましたが、現実とは全く違って「これから先、私はどうなるのだろうか」という不安で一杯でした。

そんな状況であることを同じ保育園で働いていた保育士の金子あきさん（会員）に話しました。すると、落ち込んでいた私に息子さんの話をしてくれました。それは、「息子が喘息で治療を受けていたが、だんだんと増えていく投薬に対し、このままでは危険だと思っただけで、親戚の方が通っていた新健康協会に行き、浄霊を受けてみたら元気になった。よかったら、あなたも行ってみたら」と新健康協会を紹介してくれました。

とにかく今の辛い状態が少しでも楽になりたい一心で支部を訪ねてみようと思いました。昭和五十一年五月、初めて支部に行きますと、「ギブスは取った方がいい」と言われ、この日からつげなくなりました。そして、初めて浄霊を受けますと、さつきまで痛かった腰痛が少し楽になりました。

腰痛が楽になると共に
生理が自然に始まった！

浄霊に希望を持ち、それからは週に二、三回は支部に行き、浄霊を受けました。すると、次第に腰痛だったことを忘れるくらい痛みがなくなっていきました。それから、腰痛はほとんどなくなり、二カ月が過ぎた頃には、保育園での仕事でも元気に子供たちと動き回れるようになりました。通勤時も歩くような心がけ、毎日一万歩は歩いていました。

さらに、排卵促進剤を使わずに生理が自然に始まるようになりました。本当に驚きました。

私が支部に行くようになって三カ月が経った頃、入会すれば自分でもこの素晴らしい浄霊が出来るようになること知り、昭和五十一年八月二十一日に入会しました。そして、浄霊を受けるようになって約一年、さらなる奇跡が起こりました。

無理と言われた私が
二人の子供を授かる

医者には「無理」と言われていたにも関わらず、私は待望の子どもを妊娠することが出来たのです。通院していた時の苦しみから解放された瞬間でした。私は嬉しくて、知人に報告していました。私が浄霊で腰痛が楽になっていく姿や、諦めていた妊娠が出来たことを通して、夫も母も「自分たちも浄霊が出来るようになってほしい」と、昭和五十二年七月に入会しました。

その後も浄霊を続け、無事に元気な男の子を出産しました。我が子を初めて抱いた時の感動は一生忘れることはありません。金子さんがあの時、私に協会のことを教えてくれて浄霊に出会えたことで私の人生だけでなく、私たち夫婦の人生は一変しました。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

二年後、私は二人目の子どもを授かりました。私は身をもって浄霊の素晴らしさを実感しました。二人の子どもたちも浄霊を受けて元気に成長しました。今ではそれぞれに結婚し、孫にも恵まれました。そして、その孫たちも入会しました。家族みんなが浄霊に御縁をいただくことは、私の夢であり、

希望だったのでとても嬉しいです。定年退職後も極力一万歩を目標に歩いています。現在七十五歳になりましたが、浄霊のおかげで歩行困難になるどころか走ることも出来るくらい元気になりました。

浄霊に出会えなかったらどんな人生を送っていたのでしょうか。浄霊によって私は幸せな日々を送ることが出来ています。

私が幸せだから、周囲の人たちも皆幸せであってほしいと願っています。一人でも多くの方にこの事実をお伝えしたいです。

(北海道札幌市)

浄化作用

人間には体内の毒素 (= 汚物) を排除して健康を促進しようとする働きがあります。これを称して自然良能力と言います。

例えばカゼの場合、体内にあってはならない毒素を排泄するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが体の中が掃除され、清浄化されます。

その毒素排除の過程を「浄化作用」と言います。ですから浄化作用は、体を健康にする大切な清掃作用でもあるのです。

坐骨神経痛

一枚の健康新聞で
人生が大きく変わる…

荒尾支部
柴尾絹代(71)



私が新健康協会に御縁があったのは、昭和五十七年、私が三十一歳の時でした。

当時、私は腰から足にかけて激しい痛みが走る、坐骨神経痛に悩んでいました。周囲の人達の話聞き、色々な治療法を試しましたが、一時的にしか良くならず、同じ痛みを何度も繰り返ししていました。このままの状態がずっと続くのだからと不安な毎日を送っていました。

このような状況の時に、自宅のポストに入っていた健康新聞を読みました。今まで見たことも聞いたこともないことばかりでしたが、皆様の喜びの声が数多く書かれていました。私は夢中で健康新聞を読むにつれ、坐骨神経痛も浄霊で楽になるのではないだろうかと思えてきました。本当に心に残る内容でした。

私は、今まで暗闇の中にいた心に、一筋の明るい光が見えて来たのを感じました。その後、居ても立つてもおられず、夫と一緒に支部へ行きました。

不安を抱きながら、初めて支部を訪ねましたが、浄霊を受けると、腰から足への痛みが和らぎました。すると帰りには足取りも軽く、坂道を弾むように降りて行ったことを今でも鮮明に覚えていますが、浄霊を受けるものがありましたので、しばらく浄霊を続けて受けることにしました。

毎日浄霊を受けると、日に日に痛みが和らぎ、二カ月位で坐骨神経痛が楽になりました。私の心の中は、浄霊の素晴らしさと感激でいっぱいになりました。そして、昭和五十七年九月九日、この事実を見ていた夫も、浄霊の素晴らしさを知り、私と一緒に入会することとなりました。

自然農法も四十年実践…

夫の実家は農家で、夫が若い頃、農薬散布をしていて、農薬中毒になったことがあったそうです。私も人体に影響を及ぼす農薬を使うことや、その農作物を食することをずっと疑問に思っていました。そのため、肥料や農薬を出るだけ減らして栽培しようと取り組み始めていました。

そんな時、浄霊と共に自然農法に出会い、正に最高の農法だと思いましたので、昭和五十七年から自然農法を始めました。おかげ様で現在は自然農法を始めて四十年になります。

これからも、浄霊のことを多くの方にお伝えし、また、世のため人のためをモットーに、自然農法で美味しいお

腰痛・両膝の痛み

痛みがなくなり
薬も不要になる…

台湾・高雄支部
李碧梅(69)



米や野菜、果物を作っていきたいと思っています。

明主様、誠に有難うございました。(熊本県玉名市)

私は三十代の頃に料理人の仕事を始め、以後三十年間その仕事をしておりました。立ち仕事のために腰痛や両膝の痛みがあり、毎日のように痛み止めの薬を服用していましたが、だんだん効き目がなくなり、色々な医者にかかりましたが、どの医者にも「最後には手術が必要だ」と言われ、途方に暮れていました。

二〇一三年(私が五十九歳の時)に友人から初めて浄霊の話を知りました。薬も使用しない、体にも触れない、そんな魔法のような治療があるのか…と思いましたが、手術は嫌でしたし、信頼する友人が何度も勧めるので、試してみることにしました。

そして、その年の夏、九曲堂連絡所に初めて行きました。浄霊の説明を聞き、今飲んでる薬をやめて、浄霊を試したほうが効果をハッキリ確認することが出来る…と言われましたが、私は半信半疑でしたし、手術はしたくないが、薬をすぐにやめることは出来ず、そのような気持ちで連絡所に行き、浄霊を毎回二回受けていました。

生まれ変わったように元気に

すると、二週間が経ったころ、私は膝が楽になっていくように思い、薬をすべてやめました。またその頃、腰痛の状態も良くなり始めたので、その後は積極的に毎日浄霊を受けるようになりました。

初めは信じていなかった私の娘も、四カ月を過ぎた頃、私の顔色が良くなり、楽に歩けるようになった姿を見て、浄霊を受けるようになりました。娘はずっとアレルギー性鼻炎で困っておりましたが、浄霊を受けて良くなりました。その後、孫二人も浄霊を受けるようになり、家族みんなで浄霊を受け、今まで悪いと思っていた病気は、毒素を体外に出すための過程と理解することが出来ました。

二〇一四年一月に入会して、入会後は仕事もとてもうまく行き、体もますます元気にさせて頂き、生まれ変わったようです。

浄霊を受け始めた頃を思い出すと、顔は黒く、体は浮腫んで、腰は曲がり、足を引きずりながら歩いていました。今思うと全くの別人です。これは全て浄霊のおかげです。もし浄霊がなかったら、私の人生は早くに終わっていたかもしれません。

浄霊

浄霊は、大自然のエネルギーであり、病気やあらゆる問題で苦しんでいる人、悩んでいる人を救う方法です。浄霊によって魂は清浄化され、肉体が健康になっていきます。まずは試されてみてはいかがでしょうか。



新しい命を頂きましたことを心より感謝申し上げます。浄霊を受けることで私のように元気になる人が一人でも増えますように念願しております。(台湾・高雄市)

自然農法

自然農法体験談



札幌支部
よこやまひろあき
横山泰明 (68)

私が自然農法を始めたのは、平成二十二年度です。そのきっかけは明主様が教えて下さっている自然農法で美味しい野菜を作りたいと思ったからです。

当初、耕作放棄地や林だった所を開墾して現在では、じゃが芋、人参、豆類を作っています。が、耕作は出来るだけ連作を繰り返して、自家採種を心がけています。開墾当初は虫や病気の発生がありました。無肥料、農薬不使用で作っていました。そして作物も美味しくなってきました。じゃが芋の「さやあかね」は皆さんに、「甘いね、美味しいね」と評判です。自然と感謝の気持ちがあふれて、元気をもらいました。

畑では耕作者の気持ちですが、そのまま作物に伝わるように感じますので、「一生懸命に育ててくれてありがとう」と感謝の気持ちでいつも接しています。じゃが芋の種芋の植え付けの時も、じゃが芋一個ずつに「ありがとう」と言葉をかけ、美味しく元気に育って下さい。この思いを込めて植えていきました。じゃが芋もその気持ちに込めてくれていくのかのように元気に育っています。

これからも安心安全で美味しい作物が採れる自然農法を大切に行きたいです。自然野菜で、皆さんが健康で元気になるお手伝い出来ますように。と願っています。

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする事ができます。

《京都風俗絵巻》 作者不詳

湯を沸かし、餅をのし、せつせと売り物をこしらえる餅屋。帯刀して闊歩する男たちがいたかと思えば、すぐそばでは川に入り荷を引く人足が逞しく働いています。小僧を連れだした僧侶もいれば、傘を差し掛けられてそぞろ歩く女性も。別のシーンでは毛氈の上で舞い踊る芸者、芝居、人形、浄瑠璃に興じる人びと、珍しい鳥や大きな動物の見世物小屋、そして参詣の場面など、老若男女、さまざま階層の人々がみえます。これは江戸初期、寛文時代頃につくられたとみられる絵巻物です。本作の作者は不詳ですが、十メートルにおよぶ巻物のなかに、京都の中心街の四条通の祇園社から商店、遊技場の並ぶ三条通にかけ、参詣者や行楽客で賑わう市中の様子が色とりどりに描き出されています。

当時の「今」を写したこのような風俗画は室町時代末頃から認められるようですが、説話や物語のための絵ではなく、同時代を生きる人びとの暮らしそのものを主題として描いたものはそれまでありませんでした。和歌に詠まれた歌枕を描いた名所絵や、月々の年中行事を採りあげる月次絵の形式や表現を継承しています。が、それらが普遍的に刻まれるべき歌や土地や

行事といった伝統を前提にした絵解きであるのに対して、ただただ「今」の名もなき人に注目したという点で一線を画すものなのです。

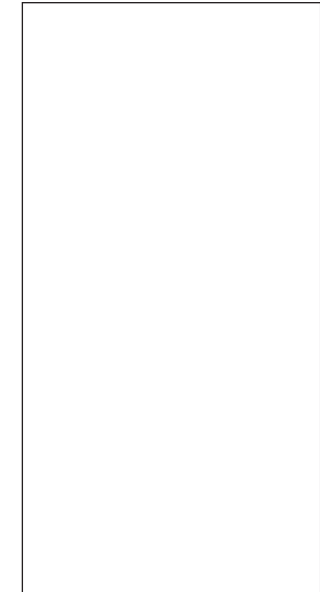
政情も安定しはじめ、都市での生活文化がいよいよ華やかに活気づいていく時代背景が、こうした画題に関心を向けさせたのかもしれませんが。あるいは風俗画の注文主たちは「今」を掌握したいという望みを抱いてこうした絵を描かせたのかもしれませんが。いずれにせよ、屏風や絵巻物でパノラミックに展開される光景から、さらに一人ひとりにズームアップすることによって浮世絵へとつながっていき、その後も当世を映し出す美術はますます隆盛を迎えることとなります。こうした「今」というものに魅力を感じる感受性は、現代のわたしたちには当たり前に思えますが、ひよっとすると本作がつくられた頃芽生えたのではないのでしょうか。継承されたもののなかにまったく新しいものが、新しいもののなかに受け継がれていくものがあります。それを見つげるのも絵をみる楽しみのひとつです。

解説 松田愛子

晴明会館 「伝承の趣」前期展

期間… 6月1日(水)～12月13日(火)

※晴明会館お問い合わせ ☎(092)661-1535



健康新聞についてのお問い合わせは (092)661-1531まで



絵巻の一部を掲載しています